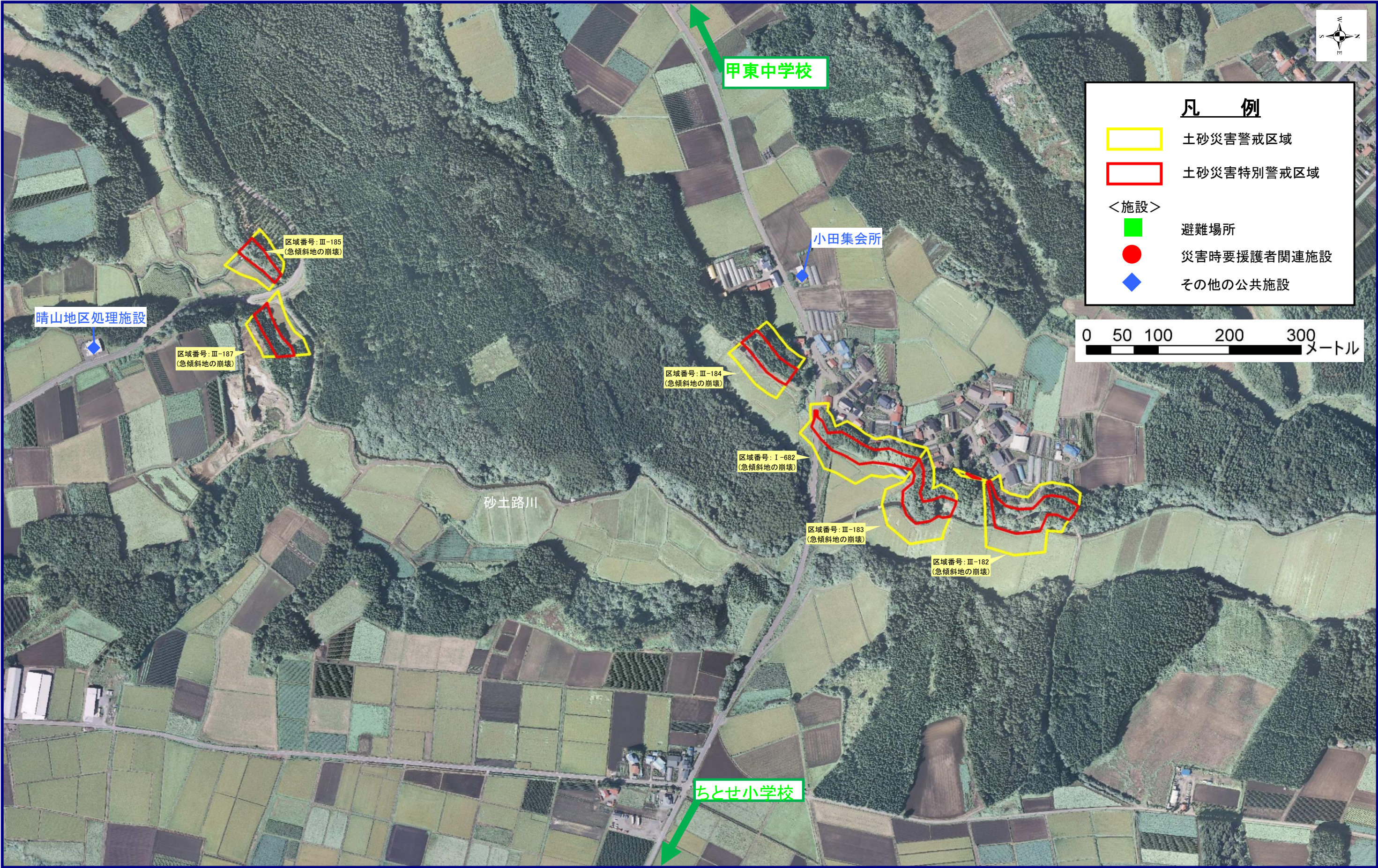


土砂災害ハザードマップ(小田地区)



土砂災害に備えて

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に食い止められるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。

土砂災害ハザードマップ（防災地図）は、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおよぶおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。また、このような時には浸水被害なども生じる可能性があることから、これらの危険性のある箇所についても示しています。

集中豪雨などにより土砂災害などが発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようにしてください。

平成24年 十和田市

■土砂災害の種類と前兆

	土砂災害の3つのタイプ	こんな前ぶれには要注意！	
がけ崩れ	 大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。	がけ崩れの前兆 ● がけからの水がにごる ● がけに亀裂が入る ● 小石が落ちてくる ● がけから異様な音がある	地すべりの前兆 ● 地面にひび割れができる ● 井戸や沢の水がにごる ● 斜面から水がふき出す
土石流	 谷や斜面に堆積した土砂が大雨によって水と混じり合い、一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいので、莫大な被害をもたらします。		
地滑り	 比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。	土石流の前兆 ● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる ● 山鳴りがする ● 立ち木のさける音、石のぶつかりあう音が聞える ● 川の水が急ににごったり、流木が混ざる	

■十和田市における土砂災害などの発生状況

西暦	年月日	災害種別	災害状況	
			旧十和田市地区	旧十和田湖町地区
1990	H 2.10.26	大雨	住家床上浸水20棟、住家床下浸水62棟 住家一部破損15棟、非住家被害64棟、 道路決壊等50箇所、河川決壊等63箇所	住家床上浸水7棟、非住家被害7棟 道路決壊11箇所、河川決壊15箇所 がけ崩れ6箇所
1991	H 3. 9.28	台風19号	重傷者2名、軽傷者9名 住家半壊27棟、住家一部半壊110棟 非住家被害318棟	住家全壊1棟、住家半壊4棟 住家一部破損66棟、棟非住家被害109棟
1999	H11.10.28	大雨	住家床上浸水36棟、住家床下浸水65棟 住家一部破損5棟、非住家被害48棟、 道路決壊等25箇所、河川決壊等44箇所	住家床上浸水15棟、非住家被害3棟 道路決壊5箇所、河川決壊1箇所

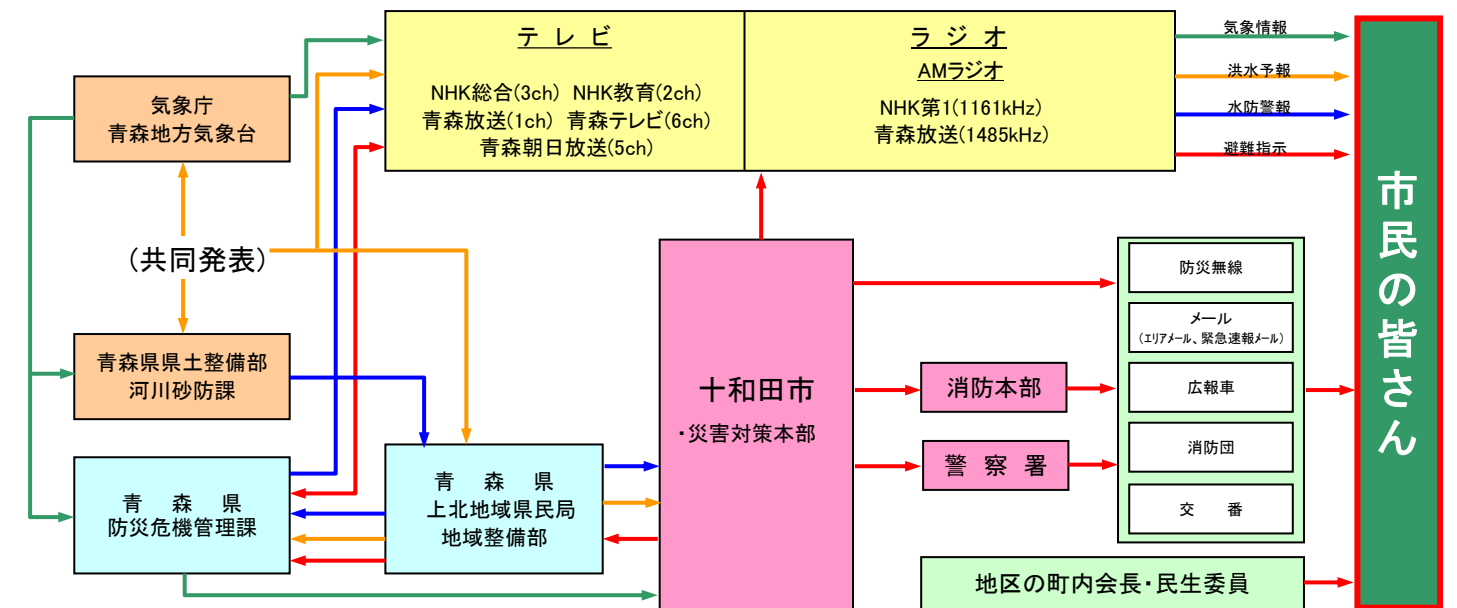
※十和田市地域防災計画書資料編から抜粋

お問い合わせ先

■十和田市役所 総務部総務課
■青森県 上北地域県民局 地域整備部
■青森県 県土整備部 河川砂防課

電話番号0176-51-6703
電話番号0176-22-8111
電話番号017-722-1111

■ 気象情報や避難情報の伝わり方



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

[illegible]